

「徳之島の森の希少なランと動物たち」

世界自然遺産にふさわしい中琉球の森の生態系管理に向けて

6月12日(水)

18:25～20:20

場所 伊仙町中央公民館
(伊仙町伊仙1842)

九州から台湾にかけて連なる琉球列島の真ん中「中琉球」の島々は、海による隔離の歴史が長く、絶滅が危惧される固有種や希少な生物が多く分布しています。本講演会では中琉球の中心に位置する徳之島を舞台に、希少なランと動物たちの生態と保全に関する話題を提供します。

主催 国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 九州支所

共催 徳之島地区自然保護協議会、徳之島エコツアーガイド連絡協議会
後援 環境省沖縄奄美自然環境事務所、NPO法人徳之島虹の会

<講師と内容>

辻田有紀(佐賀大学農学部)
「小さな小さなランの種子とその不思議」

木下晃彦(森林総合研究所 九州支所)
「ランはきのことともに生きている」

蘭光健人(佐賀大学農学部)
「木の上で暮らすラン」

関 伸一(森林総合研究所 関西支所)
「琉球の島を結ぶ赤い鳥・アカヒゲ」

小高信彦(森林総合研究所 九州支所)
「中琉球の森に暮らす固有動物の生態と保全」



フウラン
提供: 筑波実験植物園 鈴木和浩氏

問い合わせ

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 電話 096-343-3168